

令和6年12月10日

令和6年第3回神奈川県議会定例会

産業労働常任委員会資料

(令和6年12月5日付託分)

産業労働局

令和6年度11月補正予算

I 令和6年度11月補正予算総括表【産業労働局関係】	1
II 令和6年度一般会計11月補正予算歳出の事業【産業労働局関係】	2
III 令和6年度一般会計11月補正予算継続費について【産業労働局関係】	3

(注) 数字は、表示単位未満切り捨てのため合計と符合しないことがある。

議案 (条例その他 その4)

IV 収入証紙に関する条例の一部を改正する条例の概要【産業労働局関係】	4
-------------------------------------	---

I 令和6年度11月補正予算総括表【産業労働局関係】

(一般会計)

(単位：千円)

内 訳 科 目	令和6年度 現計予算額 A	令和6年度 11月補正 予算 B	計 A+B	補正予算額の財源内訳				説 明
				特 定 財 源			一般財源	
				国庫 支出金	県 債	その他		
(款)労働費	7,346,093	—	7,346,093	—	—	—	—	
(項)労政費	4,413,902	—	4,413,902	—	—	—	—	
(項)職業訓練費	2,306,626	—	2,306,626	—	—	—	—	
(項)雇用対策費	371,978	—	371,978	—	—	—	—	
(項)労働委員会費	253,587	—	253,587	—	—	—	—	
(款)商工費	22,939,741	44,000	22,983,741	—	39,000	—	5,000	
(項)商工総務費	9,978,853	44,000	10,022,853	—	39,000	—	5,000	浦島合同庁舎(仮称)整備費
(項)工業費	6,322,595	—	6,322,595	—	—	—	—	
(項)商工金融費	6,638,293	—	6,638,293	—	—	—	—	
小 計	30,285,834	44,000	30,329,834	—	39,000	—	5,000	
使途を指定しない収入	—	—	—	—	—	—	—	
産業労働局 ・労働委員会計	30,285,834	44,000	30,329,834	—	39,000	—	5,000	

(特別会計)

中小企業資金会計	1,744,381	—	1,744,381	—	—	—	—	
----------	-----------	---	-----------	---	---	---	---	--

(一般会計+特別会計)

産業労働局 ・労働委員会合計	32,030,215	44,000	32,074,215					
-------------------	------------	--------	------------	--	--	--	--	--

Ⅱ 令和6年度一般会計11月補正予算歳出の事業【産業労働局関係】

8款 商工費 1項 商工総務費

- ・ 浦島合同庁舎（仮称）整備費 44,000千円
浦島合同庁舎（仮称）の新築工事について、物価高騰の影響等による工事費の増額に対応するため、既設定の継続費を変更する。

Ⅲ 令和6年度一般会計11月補正予算継続費について【産業労働局関係】

継続費についての前前年度末までの支出額、前年度末までの支出額又は支出額の見込み及び当該年度以降の支出予定額並びに事業の進行状況等に関する調書

(変更)

款 項 事業名	全 体 計 画						前前年 度末 までの 支出額	前年度 末まで の支出 (見込) 額	当 該 年 度 支 出 予 定 額	当該年度 末までの 支 出 予 定 額	翌 年 度 以 降 の 支 出 予 定 額	継続 費の 総額 に対する 進捗 率	
	年度	区分	年割額	左 の 財 源 内 訳									一般財源
				特 定 財 源									
8 商工費			千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	%	
	5	補正前額	33,000	—	19,000	—	14,000	—	29,700	—	29,700	—	1
		補正額	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
		補正後額	33,000	—	19,000	—	14,000	—	29,700	—	29,700	—	1
1 商工総務費													
浦島合同庁舎 (仮称)新築 工事費	6	補正前額	369,000	24,296	270,000	—	74,704	—	—	416,300	416,300	—	12
		補正額	44,000	—	39,000	—	5,000	—	—	—	—	—	—
		補正後額	413,000	24,296	309,000	—	79,704	—	—	—	—	—	—
7	補正前額	1,252,000	—	—	—	1,252,000	—	—	—	—	1,356,000	—	
	補正額	104,000	—	—	—	104,000	—	—	—	—	—	—	
	補正後額	1,356,000	—	—	—	1,356,000	—	—	—	—	—	—	
8	補正前額	1,206,000	—	—	—	1,206,000	—	—	—	—	1,335,000	—	
	補正額	129,000	—	—	—	129,000	—	—	—	—	—	—	
	補正後額	1,335,000	—	—	—	1,335,000	—	—	—	—	—	—	
9	補正前額	331,000	—	—	—	331,000	—	—	—	—	333,000	—	
	補正額	2,000	—	—	—	2,000	—	—	—	—	—	—	
	補正後額	333,000	—	—	—	333,000	—	—	—	—	—	—	
計	補正前額	3,191,000	24,296	289,000	—	2,877,704	—	—	416,300	446,000	3,024,000	13	
	補正額	279,000	—	39,000	—	240,000	—	29,700	416,300	446,000	3,024,000	13	
	補正後額	3,470,000	24,296	328,000	—	3,117,704	—	29,700	416,300	446,000	3,024,000	13	

IV 収入証紙に関する条例の一部を改正する条例の概要【産業労働局関係】

1 改正の趣旨

収入証紙の利用を終了する手数料について、収入証紙以外の方法による徴収とするため、所要の改正を行うものである。

2 改正の内容

小売市場許可申請手数料など、15件の手数料を削除する。（別表の2 手数料関係）

3 施行期日及び経過措置

(1) 施行期日

令和7年4月1日

(2) 経過措置

ア この条例の施行の前日に証紙による収入の方法により徴収した2の規定による改正前の収入証紙に関する条例別表の2 手数料の表に規定する手数料（2の規定による改正後の収入証紙に関する条例別表の2 手数料の表に規定する手数料を除く。以下この項及び3(2)イにおいて「廃止手数料」という。）に係る証紙と知事が認めたものについては、令和8年3月31日までの間に限り、廃止手数料の納付のために使用することができる。

イ 廃止手数料の納付のために販売された証紙と知事が認めたもの（消印されたもの又は著しく汚染し、若しくは損傷したものを除く。）は、令和8年3月31日までに申請したときに限り、県に返還して現金の還付を受けることができる。

ウ 3(2)イの規定により還付を受ける者（収入証紙に関する条例第5条第1項に規定する販売者を除く。）については、同条例第7条第2項の規定は、適用しない。

産業労働局関係

名称
小売市場許可申請手数料
小売市場の床面積増加又は貸付条件若しくは譲渡条件の変更の許可申請手数料
貸金業者登録申請手数料
貸金業者登録更新申請手数料
指定検査等手数料
特定計量器検定手数料
装置検査手数料
基準器検査手数料
計量証明事業登録等手数料
計量証明検査手数料
職業訓練指導員免許手数料
職業訓練指導員免許証再交付手数料
職業訓練指導員試験手数料
技能検定合格証書再交付手数料
技能検定合格証明書交付手数料